

<感想>私は京土会若手会員研修助成基金による援助をいただき、2012年10月22～24日にわたって韓国・釜山で開催された、第25回KCCNNシンポジウムに参加いたしました。当シンポジウムでは、講演を聴講するのみでなく、質疑応答を含む15分程度のプレゼンテーションを英語で行い、他国の学生や先生とディスカッションを行いました。

私は“Adhesive stresses of steel members strengthened with CFRP plates”について講演を行いました。講演では、橋梁などに使われている鋼部材の補強方法として世界的に新しい技術であるCFRP板接着工法について紹介した上で、問題点として接着剤に生じる応力を挙げ、その計算手法を提案しました。

今回KCCNNシンポジウムに参加したことで、英語で行うプレゼンテーションの難しさと、ディスカッションの際に自分の考えを正確に英語で伝える難しさを再確認しました。また、他国の学生は日本の学生よりも英語でのコミュニケーション能力に優れており、積極的であるように感じました。今後、世界に出て研究ができる人材となるためには、より一層の英語学習が必要であると感じました。

今回KCCNNシンポジウムに参加して得られた経験は決して日本国内では得られないものでした。最後になりましたが、大変貴重な援助をいただいたことに心より感謝を申し上げますとともに、今後とも一層勉学に努めることをここに約束し、報告いたします。